

企 画 財 政 課

企 画 担 当
調 整 担 当
財 政 係
広 報 広 聴 係

企 画 担 当

1. 総合計画策定（実施計画）

基本計画において、体系づけられた施策及び事業を受けて、昭和55年度から昭和57年度までに実施しようとする事業計画と必要な財源についての財政計画を有機的に関連させ、毎年度の予算編成の指針とすると共に、行政を計画的かつ効率的に運営するため作成した。

(1) 実施計画策定部会開催回数

企 画 部 会	1 回
総 務 部 会	3 回
市 民 部 会	3 回
福 祉 部 会	2 回
建 設 部 会	2 回
教 育 部 会	3 回
策 定 委 員 会	4 回

(2) 総合計画策定委員会構成員

委		員		
部 長 (参事)		課 長		
委員長 篠 崎 俊 夫 助 役 収入役 橋 本 孝 蔵 教育長 町 田 倍 二	古 谷 徳 男	森 田 進	淺 見 裕 康	森 田 武
	上 野 重 勝	井 上 久 男	生 子 国 利	黒 田 登
	森 田 猛	石 川 和 夫	斉 藤 多 市	八 木 房 雄
	田 村 忠 雄		内 田 和 雄	
	高 水 求			

(3) 総合計画策定専門部会構成員

(○部会長 ●副部会長)

部会名	部 会 員			
	課 長	係 長 (主査)		
企画部会	○ 森田 進 ● 岩崎 好亮 ● 佐藤喜一郎	渡辺 義紀 原島 良吉 岡本 泰昌 市川 昭利	並木 茂 篠崎 寛 堀口 茂男 森田 則男	村野 和男 須崎 寛 柚木 誠一 青柳 敏子
総務部会	○ 森田 武 ● 乙津 宗吉 ● 古谷 正夫 ● 坂本 昭	宮城 眞一 吉沢 英治 原嶋 勝喜 島崎 正雄	渡辺 勲 青山 次男 清水 洋治	浜野喜代一 小峰 敬一 寺沢 明
市民部会	○ 井上 久夫 ● 田村 一郎 ● 矢崎 茂夫	設楽 茂生 清水喜久夫 影山 愛子	野崎 薫 島田 兼男 雨宮 修介	武藤 八三 田中 孝治
福祉部会	○ 黒田 登 ● 須崎 進	町田 光輝 設楽 政男 木村シズ子 田村 功	関根 茂一 長谷川一則 中村 愛子 石田 武美	松尾 米子 海老沢泰弘 小林 礼子
建設部会	○ 石川 和夫 ● 関口 清 ● 岡部 清人	山口 建三 横田 邦夫 松沢 清 森田 正久 安藤 昭二 富山 敬夫	高野 久 下野 利市 小林 作二 森田 雅樹 宮本 豊負 会沢 忠	市川 公一 内田 武男 中根三規夫 三浦 真也 川辺登茂次
教育部会	○ 八木 房雄 ● 橋本 好夫 ● 小野 光朗 ● 児島亀之助 ● 野沢 久人 ● 井梅 義彰	野島 照明 菅原 滋 田村 功 松本 正雄	山崎 雄大 中村 美雄 青木 近三	児島 勝 浜野 満 高橋 英次

2. 地域会館建設検討委員会

(1) 会議開催回数 2回

(2) 構 成 員

委員長	企画財政部長	上野重勝
委員	福祉部福祉事務所長	須崎進
〃	企画財政部企画財政課長	森田進
〃	総務部管財課長	森田武
〃	建設部都市計画課長	関口清
〃	教育委員会事務局社会教育課長	小野光朗
〃	市民会館・公民館長	野沢久人
〃	総務部管財課用地担当主査	原嶋勝喜
〃	建設部都市計画課都市計画係長	下野利市
〃	建設部都市計画課建築係長	松沢清
〃	福祉部福祉事務所厚生係長	設楽政男
〃	公民館管理係長	田村功
〃	企画財政部企画財政課財政係長	村野和男
〃	企画財政部企画財政課企画担当主査	渡辺義紀

3. 福社会館改造（建設）検討委員会

(1) 会議開催回数 3回

(2) 構 成 員

委員長	福祉部長	森 田 猛
委員	企画財政部企画財政課長	森 田 進
〃	総務部管財課長	森 田 武
〃	総務部庶務職員課長	古 谷 正 夫
〃	建設部都市計画課長	関 口 清
〃	福祉部福祉事務所庶務係長	関 根 茂 一
〃	福祉部福祉事務所厚生係長	設 楽 政 男
〃	福祉部福祉事務所福祉第二係長	海 老 沢 泰 弘
〃	福社会館副館長	田 村 功
〃	建設部都市計画課建築係長	松 沢 清
〃	企画財政部企画財政課財政係長	村 野 和 男
〃	企画財政部企画財政課企画担当主査	渡 辺 義 紀

4. 公共施設整備計画の作成

公共施設整備計画に関する行政需要の的確な把握と都との整合性を確保し、施策の効率的な実現を期することを目的として、昭和54年度から昭和56年度までの3か年について作成した。

5. 八高線電車化促進期成同盟会

国鉄八高線の電車化を促進し、沿線地域の経済開発を図り、関係住民の福利の増進に寄与するため、関係省庁に対して早期電車化実現の陳情を行ってきた。

加入市町村

八王子市	昭島市	福生市	瑞穂町	入間市	飯能市
日高町	毛呂山町	越生町	小川町	寄居町	児玉町
都幾川村	美里村	神川村	藤岡市	高崎市	

6. 三鷹・立川間立体化複々線促進協議会

中央線及び青梅線の輸送力の増強によって、地域社会の開発、住民の福祉向上を期するため、三鷹・立川間の立体化複々線の線増並びに青梅線及び五日市線の都心への直通を実現するため関係省庁に対し、強く要望してきた。

なお、昨年度まで未加入であった小金井市も昭和55年1月29日付で本会に加入した。

加入市町村

立川市	青梅市	昭島市	国分寺市	国立市	福生市
秋川市	八王子市	日野市	小平市	東村山市	東大和市
武蔵村山市	府中市	小金井市	瑞穂町	羽村町	奥多摩町
五日市町	日の出町	檜原村			

7. 青梅線・五日市線・八高線改善期成同盟会

青梅線、五日市線及び八高線の改善を期し、住民福祉の増進を図るため、関係省庁・国鉄当局等へ強く要望してきた。

加入市町村

青梅市	福生市	秋川市	瑞穂町	羽村町	五日市町
奥多摩町	日の出町	檜原村			

8. 市民憲章の制定

福生市も急速に都市化が進み発展する一方、市民意識も大きく変貌し、かつての市民同士のつながりやまとまりが次第に薄れ、まちにも地域にも関心を示さないと云った市民が多くなることが予想される。そこで、新しいまちづくりの礎となり、すべての市民が日常生活で実践できる心の支えとなるものとして「市民憲章」を市民の意志を反映して制定し、「活力ある市民のまち」を実現しようとするために、制定審議会及び制定起草委員会を編成し審議した。

なお、審議会からの答申は昭和55年2月29日に提出され、発表は昭和55年7月1日の市制10周年記念行事のなかで行った。

(1) 制定審議会会議開催回数 10回

(2) 制定審議会構成員

会長	来住野 元 一	委員	末 次 性 男
副会長	宮 岡 一 雄	”	仲 村 清 信
委員	浅 見 裕 康	”	並 木 信 一
”	上 野 重 勝	”	成 田 和 子
”	指 田 保 雄	”	町 田 倍 二
”	篠 崎 俊 夫	”	松 山 清
”	下 田 良 吉		
”	新 藤 正 喜		

(3) 制定起草委員会構成員

森 田 進	野 沢 久 人	宮 城 眞 一
古 谷 正 夫	児 島 亀之助	渡 辺 義 紀
小 野 光 朗	原 島 良 吉	

9. 羽村町との境界変更

このことについては羽村町との間で、当該地区の区画整理事業が終了した段階で境界変更することについて協定書を昭和43年に取り交し、同年、羽村町神明台地区の区画整理事業は終了したが、福生市加美平地区の区画整理事業は種々の事情で遅れ、昭和54年2月に事業が完了した。これを期に両市町は、昭和54年9月定例会において議決した。なお、その後の経過は次のとおりである。

① 昭和54年10月12日

両市町長の連名で都に申請書提出

② 昭和55年 2月 2日

東京都告示第112号

③ 昭和55年 3月24日

自治省告示第61号

④ 昭和55年 4月 1日

境界変更実施日（両市町長間で事務引継書を取り交した。）

(1) 境界変更に伴う変更事項

① 世帯及び人口

羽村町から福生市に編入した世帯及び人口	福生市から羽村町に編入した世帯及び人口
50世帯 男 76人 女 54人 } 計130人	34世帯 男 57人 女 45人 } 計102人

② 土 地

羽村町から福生市に編入した土地	福生市から羽村町に編入した土地
63筆 45,005.28m ²	90筆 45,565.45m ²

調 整 担 当

1. 庁 議

- (1) 開催日 毎月第1・3水曜日及び臨時
- (2) 開催回数 27回
- (3) 構成員

市 長	石 川 常 太 郎
助 役	篠 崎 俊 夫
収 入 役	橋 本 孝 藏
教 育 長	町 田 倍 二
企 画 財 政 部 長 (総 務 部 長 事 務 取 扱)	上 野 重 勝
市 民 部 長	生 子 国 利
福 祉 部 長	森 田 猛
建 設 部 長	浅 見 裕 康
建 設 部 長 (54.9 退 職)	斎 藤 多 市
建 設 部 参 事 (水 道 事 務 所 長 事 務 取 扱)	田 村 忠 雄
議 会 事 務 局 長	古 谷 徳 男
教 育 委 員 会 事 務 局 教 育 次 長	内 田 和 雄
参 事 (監 査 委 員 会 事 務 局 長 事 務 取 扱)	高 水 求
(幹 事)	
企 画 財 政 部 企 画 財 政 課 長	森 田 進
総 務 部 秘 書 室 長	坂 本 昭

2. 財 政 問 題 検 討 委 員 会

- (1) 検討内容
1. 自主財源の確保について
 2. 支出の効率化について

- (2) 開催回数 1回

(3) 構成委員

企 画 財 政 部 長	上 野 重 勝
議 会 事 務 局 長	古 谷 徳 男
企 画 財 政 部 企 画 財 政 課 長	森 田 進
総 務 部 庶 務 職 員 課 長	古 谷 正 夫
市 民 部 市 民 課 長	井 上 久 男
福 祉 部 福 祉 事 務 所 長	須 崎 進
建 設 部 土 木 課 長	石 川 和 夫
教 育 委 員 会 事 務 局 庶 務 課 長	八 木 房 雄
市 民 会 館 長	野 沢 久 人
議 会 事 務 局 庶 務 係 長	柚 木 誠 一
総 務 部 庶 務 職 員 課 庶 務 係 長	宮 城 真 一
市 民 部 市 民 課 戸 籍 係 長	野 崎 薫
福 祉 部 福 祉 事 務 所 庶 務 係 長	関 根 茂 一
建 設 部 土 木 課 庶 務 係 長	山 口 建 三
教 育 委 員 会 事 務 局 庶 務 課 庶 務 係 長	中 村 美 雄
企 画 財 政 部 企 画 財 政 課 財 政 係 長	村 野 和 男
” 調整担当	並 木 茂

3. 基地対策

(1) 昭和54年度防衛施設庁補助事業

(ア) 3条・8条関係

事 案 名	事業費	補助額	事業概要
市道1060号線 舗装補修工事	210,700 ^{千円}	14,047 ^{千円}	L=432.5m W=6.0m A=2,248.0m ²
市道幹1-2号線外2 舗装新設工事	75,436	56,577	L=805.0m W=6.0m A=8,709.0m ²
防火水槽 築造工事	11,300	7,533	40m ³ 級 5基
西住宅地区周辺排水路	1,105,885	884,708	53年度及び55年度繰越含む。 開削工、推進工、シールド工
福生緑地整備事業(熊牛緑地)	169,928	88,000	用地買収 2,764.23m ² 工事一式 4,238.715m ² 他
福生第二中学校講堂改築工事	197,662	116,646	1,143.99m ² 55年度へ繰越し
福生第三小学校防音機能復旧工事	80,026	57,014	3,439.614m ²
福生第四小学校防音機能復旧工事	1,018	639	設計
福生第五小学校防音機能復旧工事	1,002	675	〃
中央図書館	568,108	227,039	R. C 3,125.4m ²
熊川中央地区学習等 供用施設	175,977	89,453	建物 570.59m ² 用地買収 2,158.03m ²
市道幹1-2号線外2 舗装工事	39,262	29,446	53年度繰越 L=467.3m W=6.0m
福生第一小学校講堂改築工事	3,716	2,512	設計

(イ) 9条関係

事 案 名	事業費	補助額	事業概要
親和児童遊園設置事業	46,468 ^{千円}	40,000 ^{千円}	用地買収等 488.57m ² 本工事一式
第二小学校プール整備事業	43,500	38,000	25m×13m 6コース
中央図書館屋外整備事業	43,320	40,000	敷地造成 外柵 自転車置場等
市道116号線外1 路線改良事業	38,935	35,000	用地買収 810.47m ²
公共下水道管渠布設事業	22,600	20,000	污水管 ϕ 250 L=696.3m
鍋ヶ谷戸地区公園設置事業	79,960	70,772	用地買収 1,000m ² 本工事一式
福生第二給食センター新築事業	115,744	107,005	53年度繰越 R. C 560m ²

事業費：補助対象事業費（実施設計、事務費等含む。）

(2) 防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律第4条及び第5条第1項の規定に基づく区域指定

(ア) 昭和54年7月27日説明会（於 福東会館）

(イ) 昭和54年8月31日付け防衛施設庁告示第17号により福生市大字熊川字武蔵野の一部が区域指定された。

第一種区域（85WECPNL以上の区域）……住宅防音工事の助成の対象となる区域

第二種区域（90WECPNL以上の区域）……移転の補償等の対象となる区域

第三種区域（95WECPNL以上の区域）……緑地帯の整備等の対象となる区域

※ 昭和54年9月14日付け総理府令第41号で第一種区域を80WECPNL以上に
変更されたが、区域の追加告示はなされなかった。

(ウ) 住宅防音工事の状況

	50	51	52	53	54	計
戸数	9	14	22	60	40	145
室数	9	14	23	75	49	170

※ 防衛施設庁が昭和49年に示した区域指定予定図（暫定線）に基づき実施した実績及び(イ)の告示後実施した実績である。

財 政 係

1 昭和54年度一般会計歳入歳出性質別分析表

(歳 入)

区 分		予 算 額	一 般 財 源 (A)	(A)の構成比
1	市 税	2,868,977 ^{千円}	2,868,977 ^{千円}	50.3 %
2	地 方 譲 与 税	60,298	60,298	1.1
3	自 動 車 取 得 税 交 付 金	93,134	93,134	1.6
4	国 有 提 供 施 設 等 所 在 地 市 町 村 助 成 交 付 金 等	1,047,354	1,047,354	18.4
5	地 方 交 付 税	1,298,340	1,298,340	22.8
内	普 通	1,013,402	1,013,402	17.8
	特 別	284,938	284,938	5.0
6	交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	13,646	13,646	0.2
7	分 担 金 及 び 負 担 金	277,271	0	0.0
8	使 用 料 及 び 手 数 料	59,428	0	0.0
9	国 庫 支 出 金	2,366,896	0	0.0
10	都 支 出 金	553,580	0	0.0
11	財 産 収 入	53,457	17,381	0.3
12	寄 附 金	12,783	2,783	0.1
13	繰 入 金	0	0	0.0
14	繰 越 金	136,655	136,655	2.4
15	諸 収 入	601,167	161,617	2.8
16	市 債	690,200	0	0.0
歳 入 合 計		10,133,186	5,700,185	100.0

(歳 出)

区 分		予 算 額	一 般 財 源 (B)	(B)の構成比
1	人 件 費	1,804,276 ^{千円}	1,740,631 ^{千円}	30.5%
	うち職員給	1,423,318	1,373,117	24.1
2	物 件 費	1,477,824	844,746	14.8
3	維 持 補 修 費	510,69	47,233	0.8
4	補 助 費 等	684,930	626,016	11.0
5	扶 助 費	1,052,825	259,163	4.6
6	公 債 費	390,861	384,360	6.8
7	積 立 金	540,051	495,000	8.7
8	投資及び出資貸付金	28,001	1	0.0
9	繰 出 金	489,000	489,000	8.6
10	投 資 的 経 費	3,578,093	777,779	13.6
内 訳	うち人件費	53,795	11,734	0.2
	1) 普通建設事業	3,569,361	769,845	13.5
	(1) 補 助	3,051,514	312,528	5.5
	(2) 単 独	517,847	457,317	8.0
	2) 失業対策事業	8,732	7,934	0.1
11	予 備 費	36,256	36,256	0.6
歳 出 合 計		10,133,186	5,700,185	100.0

2 会計別予算額比較表

(1) 一般会計

款		5 4 年 度			
		当初予算額	補正予算額	予算総額(A)	(A)の構成比
入	1 市 税	2,613,851 ^{千円}	255,126 ^{千円}	2,868,977 ^{千円}	28.3%
	2 地方譲与税	44,441	15,857	60,298	0.6
	3 自動車取得税交付金	89,800	3,334	93,134	0.9
	4 国有提供施設等所在 市町村助成交付金等	940,935	106,419	1,047,354	10.3
	5 地方交付税	913,374	384,966	1,298,340	12.8
	6 交通安全対策特別 交 付 金	16,866	△ 3,220	13,646	0.1
	7 分担金及び負担金	192,155	85,116	277,271	2.8
	8 使用料及び手数料	58,616	812	59,428	0.6
	9 国庫支出金	1,914,869	452,027	2,366,896	23.4
	10 都 支 出 金	333,014	220,566	553,580	5.5
	11 財 産 収 入	18,353	35,104	53,457	0.5
	12 寄 附 金	0	12,783	12,783	0.1
	13 繰 入 金	100,000	△100,000	0	0.0
	14 繰 越 金	30,000	106,655	136,655	1.4
	15 諸 収 入	602,244	△ 1,077	601,167	5.9
	16 市 債	526,800	163,400	690,200	6.8
歳 入 合 計		8,395,318	1,737,868	10,133,186	100.0
出	1 議 会 費	139,075	3,923	142,998	1.4
	2 総 務 費	868,143	88,281	956,424	9.4
	3 民 生 費	1,691,442	145,873	1,837,315	18.1
	4 衛 生 費	553,032	29,392	582,424	5.8
	5 労 働 費	8,478	260	8,738	0.1
	6 農 林 水 産 業 費	41,605	△ 2,327	39,278	0.4
	7 商 工 費	57,490	3,957	61,447	0.6
	8 土 木 費	1,679,260	929,181	2,608,441	25.7
	9 消 防 費	260,550	118,322	378,872	3.7
	10 教 育 費	2,444,158	117,494	2,561,652	25.3
	11 公 債 費	394,188	△ 3,300	390,888	3.9
	12 諸 支 出 金	15,627	512,826	528,453	5.2
	13 予 備 費	242,270	△206,014	36,256	0.4
歳 出 合 計		8,395,318	1,737,868	10,133,186	100.0

5 3 年 度				増減額 (A) - (B) (C)	増減率 (A) - 1 (B)
当初予算額	補正予算額	予算総額(B)	(B)の構成比		
2,192,444 ^{千円}	317,471 ^{千円}	2,509,915 ^{千円}	29.4%	359,062 ^{千円}	14.3%
49,756	△ 6,370	43,386	0.5	16,912	39.0
73,315	6,865	80,180	0.9	12,954	16.2
772,898	123,232	896,130	10.5	151,224	16.9
704,808	522,828	1,227,636	14.4	70,704	5.8
12,373	2,822	15,195	0.2	△ 1,549	△10.2
130,165	14,066	144,231	1.7	133,040	92.2
54,116	5,365	59,481	0.7	△ 53	△ 0.1
1,417,134	199,045	1,616,179	18.9	750,717	46.5
418,990	106,729	525,719	6.2	27,861	5.3
14,002	3,072	17,074	0.2	36,383	213.1
1,768	100	1,868	0.0	10,915	584.3
100,000	△ 99,342	658	0.0	△ 658	0.0
70,000	183,266	253,266	3.0	△116,611	△46.0
512,381	9,827	522,208	6.1	78,959	15.1
578,800	40,800	619,600	7.3	70,600	11.4
7,102,950	1,429,776	8,532,726	100.0	1,600,460	18.8
125,249	7,110	132,359	1.6	10,639	8.0
796,893	106,456	903,349	10.6	53,075	5.9
1,523,491	49,426	1,572,917	18.4	264,398	16.8
673,602	87,570	761,172	8.9	△178,748	△23.5
8,404	△ 157	8,247	0.1	491	6.0
38,397	138	38,535	0.5	743	1.9
61,020	△ 6,325	54,695	0.6	6,752	12.3
1,345,942	185,173	1,531,115	18.0	1,077,326	70.4
210,018	12,751	222,769	2.6	156,103	70.1
1,883,904	312,707	2,196,611	25.7	365,041	16.6
347,012	155,715	502,727	5.9	△111,839	△22.2
11,208	567,741	578,949	6.8	△ 50,496	△ 8.7
77,810	△ 48,529	29,281	0.3	6,975	23.8
7,102,950	1,429,776	8,532,726	100.0	1,600,460	18.8

(2) 国民健康保険会計

款		5 4 年 度			
		当初予算額	補正予算額	予算総額(A)	(A)の構成比
歳入	1 国民健康保険料	265,107 ^{千円}	8,351 ^{千円}	273,458 ^{千円}	27.7%
	2 国庫支出金	467,095	25,331	492,426	49.9
	3 都支出金	69,942	0	69,942	7.1
	4 財産収入	1	0	1	0.0
	5 繰入金	35,000	0	35,000	3.6
	6 繰越金	25,000	88,100	113,100	11.5
	7 諸収入	455	1,593	2,048	0.2
歳入合計		862,600	123,375	985,975	100.0
歳出	1 総務費	41,068	2,431	43,499	4.4
	2 保険給付費	815,338	75,137	890,475	90.3
	3 保健施設費	110	0	110	0.0
	4 公債費	1,110	△ 1,110	0	0.0
	5 諸支出金	1,000	6,374	7,374	0.8
	6 予備費	3,974	40,543	44,517	4.5
歳出合計		862,600	123,375	985,975	100.0

(3) 区画整理事業会計

款		5 4 年 度			
		当初予算額	補正予算額	予算総額(A)	(A)の構成比
歳入	1 分担金及び負担金	32,326 ^{千円}	0 ^{千円}	32,326 ^{千円}	14.2%
	2 都支出金	180	17	197	0.1
	3 財産収入	10	0	10	0.0
	4 繰入金	11,000	50,000	61,000	26.7
	5 繰越金	3,000	13,425	16,425	7.2
	6 諸収入	27,005	91,386	118,391	51.8
歳入合計		73,521	154,828	228,349	100.0
歳出	1 総務費	22,386	1,365	23,751	10.4
	2 事業費	22,869	48,280	71,149	31.2
	3 諸支出金	26,605	101,945	128,550	56.3
	4 予備費	1,661	3,238	4,899	2.1
歳出合計		73,521	154,828	228,349	100.0

5 3 年 度				増減額 (A) - (B) (C)	増減率 (A) - 1 (B)
当初予算額	補正予算額	予算総額(B)	(B)の構成比		
255,550 ^{千円}	0 ^{千円}	255,550 ^{千円}	29.2%	17,908 ^{千円}	7.0%
463,165	△ 33,507	429,658	49.1	62,768	14.6
70,467	0	70,467	8.0	△ 525	△ 0.7
0	0	0	0.0	1	0.0
35,000	0	35,000	4.0	0	0.0
25,000	59,213	84,213	9.6	28,887	34.3
501	0	501	0.1	1,547	308.8
849,683	25,706	875,389	100.0	110,586	12.6
37,662	207	37,869	4.3	5,630	14.9
806,337	△ 35,604	770,733	88.1	119,742	15.5
110	0	110	0.0	0	0.0
1,332	△ 1,332	0	0.0	0	0.0
1,000	10,600	11,600	1.3	△ 4,226	△ 36.4
3,242	51,835	55,077	6.3	△ 10,560	△ 19.2
849,683	25,706	875,389	100.0	110,586	12.6

5 3 年 度				増減額 (A) - (B) (C)	増減率 (A) - 1 (B)
当初予算額	補正予算額	予算総額(B)	(B)の構成比		
114,882 ^{千円}	32,434 ^{千円}	147,316 ^{千円}	62.4%	△114,990 ^{千円}	△ 78.1%
150	0	150	0.1	47	31.3
0	0	0	0.0	10	0.0
70,000	0	70,000	29.7	△ 9,000	△ 12.9
2,000	15,355	17,355	7.3	△ 930	△ 5.4
805	320	1,125	0.5	117,266	10,423.6
187,837	48,109	235,946	100.0	△ 7,597	△ 3.2
25,520	△ 3,880	21,640	9.2	2,111	9.8
161,975	44,929	206,904	87.7	△135,755	△ 65.6
0	0	0	0.0	128,550	0.0
342	7,060	7,402	3.1	△ 2,503	△ 33.8
187,837	48,109	235,946	100.0	△ 7,597	△ 3.2

(4) 下水道事業会計

款		5 4 年 度			
		当初予算額	補正予算額	予算総額(A)	(A)の構成比
歳 入	1 分担金及び負担金	75,850 ^{千円}	92,593 ^{千円}	168,443 ^{千円}	7.3%
	2 使用料及び手数料	125,570	△ 31,677	93,893	4.0
	3 国庫支出金	275,400	△ 8,955	266,445	11.5
	4 都支出金	35,000	△ 30,000	5,000	0.2
	5 繰入金	286,000	105,000	391,000	16.9
	6 繰越金	2,000	48,551	50,551	2.2
	7 諸収入	10,550	△ 142	10,408	0.4
	8 市債	1,030,500	301,200	1,331,700	57.5
歳入合計		1,840,870	476,570	2,317,440	100.0
歳 出	1 総務費	195,786	13,597	209,383	9.1
	2 事業費	1,426,532	460,503	1,887,035	81.4
	3 公債費	209,201	△ 2,725	206,476	8.9
	4 予備費	9,351	5,195	14,546	0.6
歳出合計		1,840,870	476,570	2,317,440	100.0

5 3 年 度				増 減 額 (A) - (B) (C)	増 減 率 $\frac{(A)}{(B)} - 1$
当初予算額	補正予算額	予算総額(B)	(B)の構成比		
44,400 ^{千円}	33,300 ^{千円}	77,700 ^{千円}	4.5%	90,743 ^{千円}	116.8%
51,000	△ 39,576	11,424	0.7	82,469	721.9
128,500	133,900	262,400	15.3	4,045	1.5
45,000	△ 10,100	34,900	2.0	△ 29,900	△ 85.7
240,000	71,000	311,000	18.2	80,000	25.7
8,000	53,237	61,237	3.6	△ 10,686	△ 17.5
11,300	15,341	26,641	1.6	△ 16,233	△ 60.9
526,400	400,400	926,800	54.1	404,900	43.7
1,054,600	657,502	1,712,102	100.0	605,338	35.4
123,473	17,499	140,972	8.2	68,411	48.5
778,461	643,460	1,421,921	83.1	465,114	32.7
145,491	0	145,491	8.5	60,985	41.9
7,175	△ 3,457	3,718	0.2	10,828	291.2
1,054,600	657,502	1,712,102	100.0	605,338	35.4

3 地方交付税

(1) 普通交付税

区 分		当 初 算 定
基 準 財 政 需 要 額	経 常	2,148,498 千円
	投 資	688,444
	そ の 他	73,562
	計 (ア)	2,910,504
	錯 誤 (イ)	836
	(ア) + (イ) (A)	2,911,340
基 準 入 財 政 額	収 入 額 (ウ)	1,899,323
	錯 誤 (エ)	1,385
	(ウ) + (エ) (B)	1,897,938
交 付 基 準 額 (A) - (B) (C)		1,013,402
交 付 額		1,013,402

(調整率 な し)

(2) 特別交付税

284,938 千円

4 収益事業（競輪）

東京都市収益事業組合（9市）の主催による本年度の開催回数、成績は次のとおりであります。

回数	開催日	競輪場	売上額	入場者数
1	6. 14 ~ 6. 16 6. 17 ~ 6. 19	立川	円 3,867,348,000	人 111,470
2	7. 19 ~ 7. 21 7. 22 ~ 7. 24	〃	2,953,506,300	88,197
3	9. 13 ~ 9. 15 9. 16 ~ 9. 18	〃	3,232,995,300	96,408
4	11. 15 ~ 11. 17 11. 18 ~ 11. 20	〃	3,322,773,000	92,780
5	1. 31 ~ 2. 1 2. 5 ~ 2. 7	京王閣	3,509,574,200	92,730
6	2. 8 ~ 2. 10 2. 16 ~ 2. 18	立川	3,533,650,200	96,916
7	3. 13 ~ 3. 15 3. 16 ~ 3. 18	京王閣	3,126,284,700	84,260
合	計		23,546,131,700	662,761

収益金の配分額は次のとおりであります。

配分金 157,000,000円

5 起債の状況

(1) 起債許可状況（一般会計分）

区分	事業名	許可額	資金区分			
			政府債	東京都	公営企業金融公庫	繰越債
単	仮称中央図書館コミュニティ供用施設建設事業	228,900 ^{千円}	192,900 ^{千円}	36,000 ^{千円}		
〃	仮称中央図書館建設事業	68,000	68,000			
〃	緑地整備事業（熊牛地区）	61,400	61,400			
〃	学習等供用施設建設事業（白梅会館）	64,600	64,600			
〃	消防車庫新築事業	41,900		10,000		31,900
〃	防衛施設周辺道路整備事業	19,400	19,400			
〃	臨時地方道整備事業	30,000			20,300	9,700
義	市立福生第二中学校屋内運動場増築事業並びに同講堂防音改築事業	39,700	27,400			12,300
公住	市営住宅新築事業	53,100	18,100		35,000	
厚	児童遊園整備事業	5,500	5,500			
	合 計	612,500	457,300	46,000	55,300	53,900

単＝一般単独事業債

義＝義務教育施設整備事業債

公住＝公営住宅建設事業債

許可額の合計612,500千円のうち、市立福生第二中学校屋内運動場増築事業並びに同講堂防音改築事業の一部27,400千円及び市営住宅新築事業の全部53,100千円は、繰越事業により昭和55年度に借入します。

(2) 起債額の状況(一般会計分)

区 分		5 3 年 度 末 現 在 高	5 4 年 度 起 債 借 入 額	5 4 年 度 元 金 償 還 額	5 4 年 度 末 現 在 高
		千円	千円	千円	千円
目 的 別	庁 舎 建 設 債	11,807		915	10,892
	厚生福祉施設費	15,117.5	5,500	7,666	14,900.9
	公 営 住 宅 債	373		252	121
	衛 生 事 業 債	126,341		6,041	120,300
	土 木 事 業 債	842,796	118,200	46,534	914,462
	消 防 事 業 債	53,809	4,190	12,920	82,789
	義 務 教 育 事 業 債	871,048	12,300	42,838	840,510
	社 会 教 育 事 業 債	1,376,625	361,500	13,495	1,724,630
	財 政 対 策 債	87,800		6,760	81,040
合 計		3,521,774	539,400	137,421	3,923,753
借 入 先 別	大 蔵 省	803,164	5,500	42,553	766,111
	郵 政 省	1,454,468	413,700	18,678	1,849,490
	市 町 村 共 済 組 合	20,016	23,400	3,980	39,436
	埼 玉 銀 行	952,540	22,000	50,320	924,220
	東 京 都	228,296	46,000	15,652	258,644
	日 本 損 害 保 険 協 会	2,100		2,100	
	市 有 物 件 災 害 共 済 会	9,990	8,500	2,138	16,352
	農 業 協 同 組 合	26,000		2,000	24,000
	公 営 企 業 金 融 公 庫	25,200	20,300		45,500
合 計		3,521,774	539,400	137,421	3,923,753

54年度起債借入額の目的別土木事業債及び借入先別の郵政省の欄にそれぞれ昭和53年度繰越事業である防衛施設周辺道路整備事業の一部7,400千円が借入されています。

広 報 広 聴 係

1. 広 報 活 動

(1) 発行物による活動

	発行日	発行部数	規 格	内 容
広報ふっさ	毎月15日	部 17,371 (月平均)	B-5判 8~14ページ	解説記事中心
声の広報	毎月15日	巻 12 (毎月)	カセット テープ	視覚障害者(1・2級)を対象に「広報ふっさ」の内容をテープに収録したもの
市のお知らせ	毎月25日	部 17,258 (月平均)	B-4判 2ページ	お知らせ記事中心
福案生市内図	55年3月	部 2,000	A-2判 5色刷	市内をイラスト図にまとめ、転入者向けに市の業務、施設等を紹介したもの

(2) 福生市の歌、歌詞、曲の公募

市民の心の象徴として、また多くの市民の願望から“福生市の歌”の歌詞、曲を公募した。

イ 歌詞の公募

期 間 昭和54年10月中旬~同年12月20日

応募数 71点

入 選 福生市福生1,114

設楽千代子さん

佳 作 福生市熊川934

関谷 明正さん 他4名

ロ 曲の公募

期 間 昭和55年2月中旬～同年3月19日

応募数 51点

入 選 該当作品なし

佳 作 福生市熊川485

西村 芳子さん 他5名

※ 歌詞の部の入選作品は、作詩家の 丘 灯至夫氏に補作された。また曲の部の入選作品については、最終的に選ばれた6点、それぞれ甲乙つけがたく、作曲家、團 伊玖磨氏に作曲を依頼することとなり、“福生市の歌”が完成した。

福生市の歌

設楽千代子作詩 丘 灯至夫補作
團 伊玖磨作曲 横山 菁児編曲

一、 緑さわやか 武蔵野の

夢もゆたかに 弾む町

友と組む手が ぬくもりが

虹の未来を 築きます

ああ 福生

わが町 福生

ああ 福生 いつまでも

二、

光溢れる この町の

歩みいくとせ 今 日もまた

ちから寄せあい 睦みあい

守るしあわせ すくすくと

ああ 福生

わが町 福生

ああ 福生 いつまでも

三、

花の香りや 七夕や

多摩の流れに 飛ぶ螢

生きる喜び 抱きしめて

清く 明るく たくましく

ああ 福生

わが町 福生

ああ 福生 いつまでも

(3) 広報車による活動

	広 報 名	広 報 回 数
広報車による広報	交通災害共済広報	8 回
	国民年金広報	18
	青少年問題協議会広報	4
	社会を明るくする運動広報	2

2. 広 聴 活 動

(1) 一 般 相 談

ア 市民相談・問い合わせ

毎日午前8時30分～午後5時

(ただし、土曜日の午後、日曜日、祝日は除く。)

年間相談・問い合わせ件数 218件

内訳	{	市政に関する相談	12件
		市政以外の相談	52件
		問い合わせ	154件

担当 市職員

イ 一般相談取扱件数表

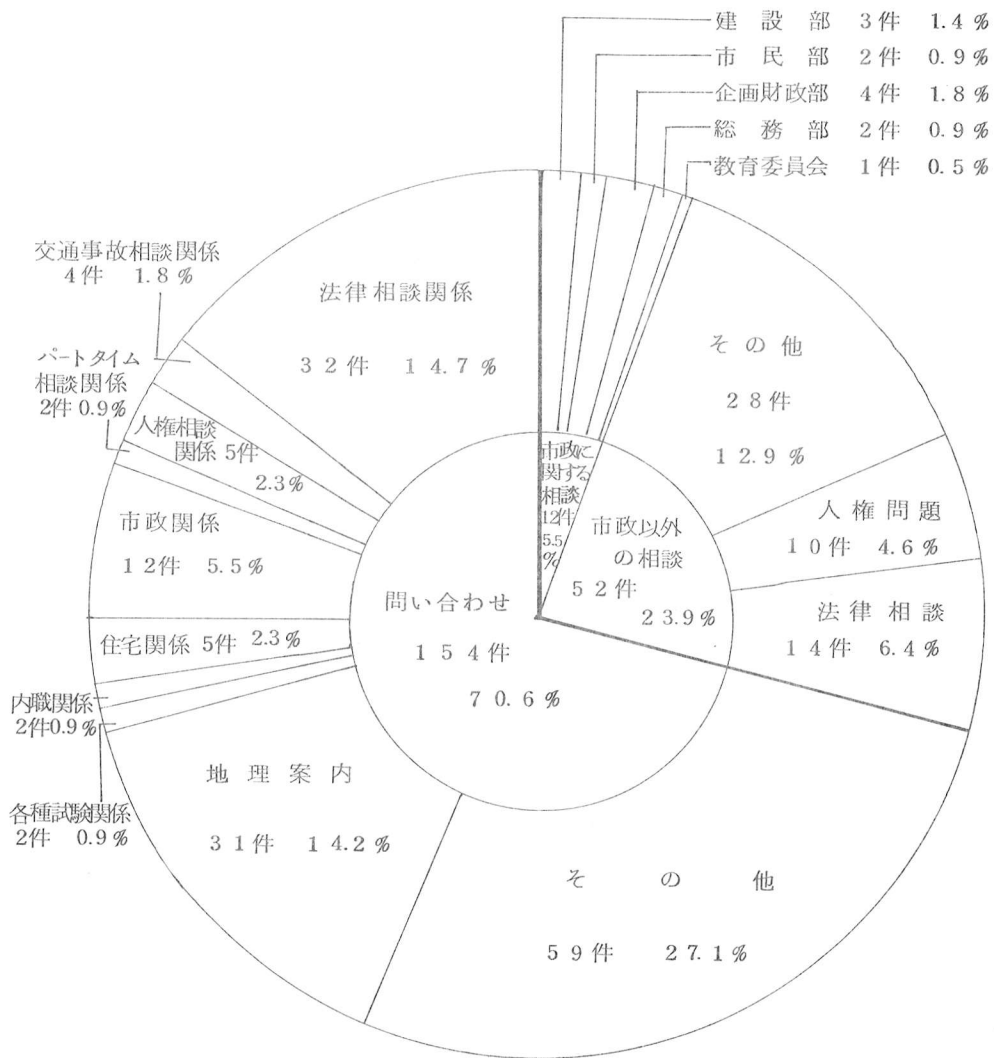
	部	件数	内 訳	受 理 区 分		
				計	来 訪	電 話
市政に関する相談	建設部	3	道路問題について	2件	件	2件
			公共事業に関する問題について	1		1
	市民部	2	“ハエ”の発生について	1		1
			ゴミ問題について	1		1

	部	件数	内 訳	受 理 区 分		
				計	来 訪	電 話
市政に関する相談	企画財政部	4	広報無線について	2件	1件	2件
			税金の納入に対する報奨金について	1	1	
			相談業務について	1	1	
	総務部	2	市営住宅について	1	1	
			身障者用の庁舎前駐車場について	1	1	
教育委員会	1	市民体育館の使用について	1	1		
合 計		12		12	5	7

	件数	内 訳	受 理 区 分	
			来 訪	電 話
市政以外の相談	14件	法律的な問題	9件	5件
	10	人権問題	3	7
	28	その他	19	9
合 計	52		31	21

	件数	内 訳	受 理 区 分	
			来 訪	電 話
問 い 合 わ せ	32件	法律相談関係	17件	15件
	4	交通事故相談関係	0	4
	5	人権相談関係	1	4
	2	パートタイム相談関係	2	0
	12	市政関係	4	8
	5	住宅関係	4	1
	2	内 職	1	1
	2	各種試験	2	0
	31	地理案内	21	10
	59	そ の 他	38	21
合 計	154		90	64

ウ 市民相談部（局、所）別割合及び
問い合わせ内容別割合



(2) 特別相談

ア 市民総合相談

昭和54年10月18日(木) 午前10時~午後3時

於 商工会館2階会議室

相談の内容	件数	担当者
市政相談	0 ^件	市職員
行政相談	0	行政相談委員、行政監察局職員
法律相談	1	弁護士
交通事故相談	2	都交通事故相談員、弁護士
人権身の上相談	2	人権擁護委員、東京法務局八王子支局職員

イ 巡回無料法律相談

昭和54年11月5日(月) 午前10時~午後4時

於 商工会館2階会議室

相談件数 4件

協力 ・東京三弁護士会(東京弁護士会、第一東京弁護士会、第二東京弁護士会)
・財団法人法律扶助協会

ウ 人権身の上相談

毎月第1水曜日午後1時~午後4時

於 市民相談室

担当 人権擁護委員

(田中政一氏、田村良夫氏、榎本令秀氏、宇佐美良時氏)

月別相談件数(自宅受理件数も含む。)

月別	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	55年	1	2	3	計
件数	4 ^件	4	1	3	6	3	2	1	3	1	1	2	1	31

エ 行政相談

毎月第1水曜日 午後1時～午後4時

於 市民相談室

担当 行政相談委員（大野忠一氏）

月別相談件数（自宅受理件数も含む。）

月別	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	55年1	2	3	計
件数	2件	3	3	2	3	2	4	3	2	1	3	2	30

オ 交通事故相談

毎月第3木曜日 午後1時～午後4時

於 市民相談室

担当 都交通事故相談員、弁護士

月別相談件数

月別	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	55年1	2	3	計
件数	5件	1	4	4	0	3	2	2	2	1	2	2	28

カ 少年相談

毎月第2・4金曜日 午前9時～午後5時

於 市民相談室

担当 警視庁立川少年センター相談員

月別相談件数

月別	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	55年1	2	3	計
件数	2件	4	4	4	2	3	4	4	0	3	3	6	39

キ パートタイム相談

毎週火曜日 午後1時～午後4時

於 市民相談室

担当 福生高齢者職業相談所職員

青梅公共職業安定所職員

月別相談件数

月別	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	55年 1	2	3	計
件数	13	27	22	24	19	34	34	15	9	11	24	22	254

ク 法律相談

毎月第2・3・4水曜日 午前10時～午後3時

於 市民相談室

担当 弁護士（島田勝三氏、長瀬厚一郎氏、山本政敏氏）

月別 内容	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	55年 1	2	3	計
借地・借家	3	5	4	2	1	6	1	2	2	2	5	1	34
相 続	4	1	2	2	1	4	1	1	2	3	7	6	34
離 婚	1	5	1	3	1	1	4	3	2		2	2	25
金銭貸借	1			1	3			1	3			1	10
売 買	1	4					1			1	1		8
損害賠償	1			1	1	2	1	2	3				11
親子(扶養)	1									1			2
夫 婦	1				1					1			3
境 界	1		1			1	1	1				1	6
登 記		1	1	2	1		1						6
そ の 他	4	1	7		1	2	3	4	3	3	2	3	33
合 計	18	17	16	11	10	16	13	14	15	11	17	14	172

(3) 施設見学（申し込みにより実施）

見学コース

市民会館・福祉会館——市民体育館——健康センター——市役所（昼食）

——水道事務所——西多摩衛生組合

参加数 40名

参加者 福生第三小学校PTA

(4) 市民相談のしおり

作成日 昭和54年11月

作成部数 1,000枚

規格 A4 3つ折り

内容 各種相談の内容・相談日・相談場所・相談員の紹介等

(5) 無料相談ポスター

作成日 昭和54年4月

作成部数 200枚

規格 A2、コート110、2色

内容 毎月開催される各種相談についての日時・場所等を明示したもので、市の施設に掲示し市民に周知するもの

(6) 庁内案内ほか

年間 14,923件

課名	件数	課名	件数	課名	件数
市長	25 ^件	秘書室	25 ^件	衛生課	323 ^件
助役	10	庶務職員課	313	保険年金課	400
収入役	8	管財課	332	福祉事務所	522
企画財政課	435	市民課	2,771	土木課	335
税務課	2,323	経済課	576	都市計画課	513

課 名	件 数	課 名	件 数	課 名	件 数
下 水 道 課	448 ^件	監 査 事 務 局	4 ^件	健 康 セ ン タ ー	183 ^件
水 道 事 務 所	252	教 育 委 員 会	291	住 宅 案 内	127
会 計 課	1,072	福 祉 会 館	23	地 理 案 内	720
議 会 事 務 局	61	市 民 会 館	24	そ の 他	2,563
選 管 事 務 局	238	地 域 会 館	6	合 計	14,923

(7) 相談室利用状況

月 別	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	55年	1	2	3	計
件 数	13 ^件	17	15	15	17	12	15	17	16	12	13	11	173	

(8) 陳情・請願・要望等

年間 17件

- ・ 加美平土地区画整理の精算金に関する陳情
- ・ 千手院の土留工事負担に関する陳情
- ・ 指名業者の選定等に関する陳情
- ・ 集会場、地域会館の建設に関する陳情
- ・ 公有財産管理用の図面作成等他4件に関する陳情
- ・ 町会の管理運営する掲示板の設置に関する陳情
- ・ 地域防災コミュニティセンター設置に関する陳情
- ・ 自然環境保全事業団の設立に関する陳情
- ・ 福生駅西口商店街にある噴水の処置に関する要望
- ・ 福生市消防団詰所等に関する要望
- ・ 秋川市草花字森山玉川向地区の下水の処理に関する要望
- ・ 校医手当の増額等に関する要望
- ・ 東京都の財政補助に関する要望
- ・ 表示登記相談の開設に関する要望

- 水道本管の移設に関する嘆願
- 国道16号線道路の改修拡幅に関する嘆願
- 米軍横田基地から流出したジェット燃料汚染に関する申し入れ

3. 人権擁護委員

氏名	住所	任期
田中政一	福生市本町107	51. 8. 1 ~ 54. 7. 31
田村良夫	福生市福生881	52. 11. 1 ~ 55. 10. 31
榎本令秀	福生市福生507	54. 11. 1 ~ 57. 10. 31
宇佐美良時	福生市熊川697	54. 11. 1 ~ 57. 10. 31

4. 行政相談委員

氏名	住所	任期
大野忠一	福生市加美平3-37-6	54. 4. 1 ~ 56. 3. 31

5. 弁護士

氏名	住所
島田勝三	福生市福生583
長瀬厚一郎	千代田区西神田2-5-7 神田中央ビル705
山本政敏	千代田区有楽町1-10-1 有楽町ビル618区